

2017年度（平成29年度）
「福山市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況

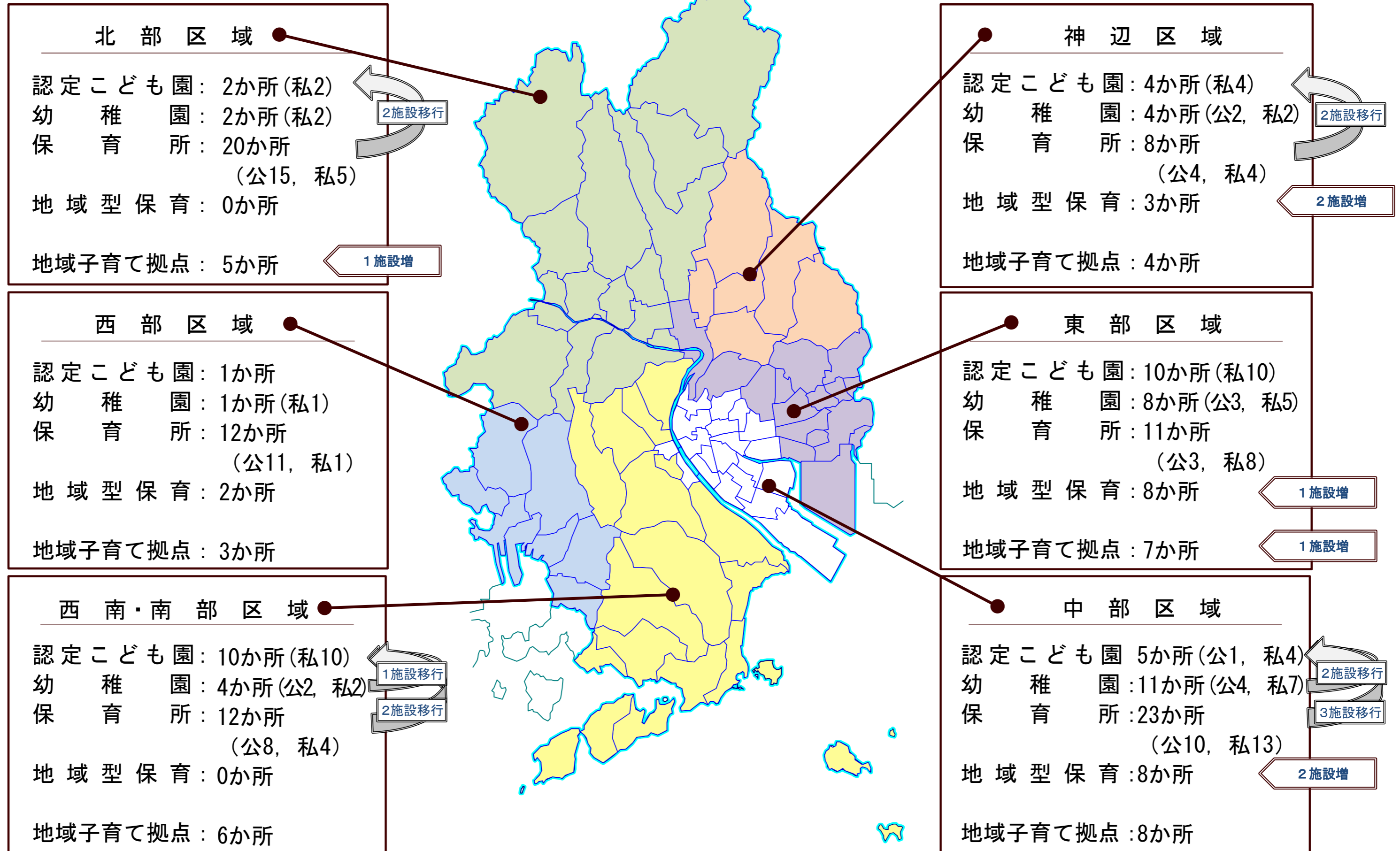
計画期間：2015年度（平成27年度）～2019年度（平成31年度）

- ・教育・保育の量の見込みと確保方策について
- ・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

教育・保育の量の見込みと確保方策について

2018年（平成30年）4月1日現在

○区域別の子育て支援サービスの状況



※大学附属こども園は、大学附属幼稚園、東幼稚園及び東保育所を統合し、2018年4月1日に開園しました。

1号認定+幼児期の学校教育の利用希望が強い児童（認定こども園・幼稚園）

（単位：人）

○量の見込み

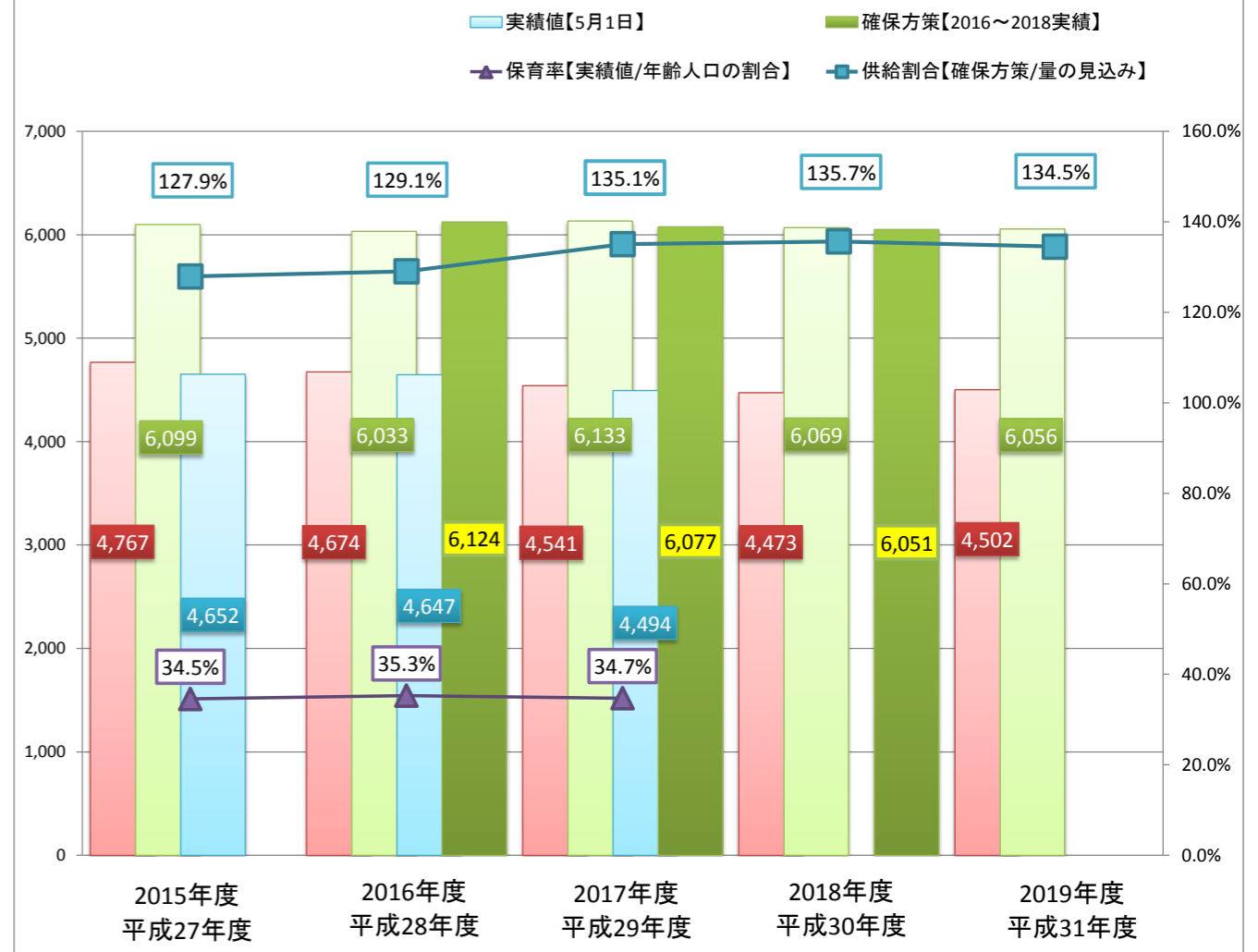
区分	2017年度 事業計画 (A)	2017年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2018年度 事業計画 (C)
3～5歳人口	13,185	12,953	△ 232	12,948
1号認定	利用量 4,451	4,494	△ 47	4,383
幼児期の学校教育の利用 希望が強い児童				
他市町の子ども	府中市	(他市町の子どもを含む)		府中市
	尾道市			尾道市
	井原市			井原市
	笠岡市			笠岡市
合計	4,541	4,494	△ 47	4,473

○確保方策

区分	2017年度 事業計画 (A)	2017年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2018年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	3,173	2,287	△ 886	3,469
確認を受けない幼稚園	2,930	3,790	860	2,570
他市町の幼稚園	尾道市	30	0	尾道市
合計	6,133	6,107	△ 26	6,069

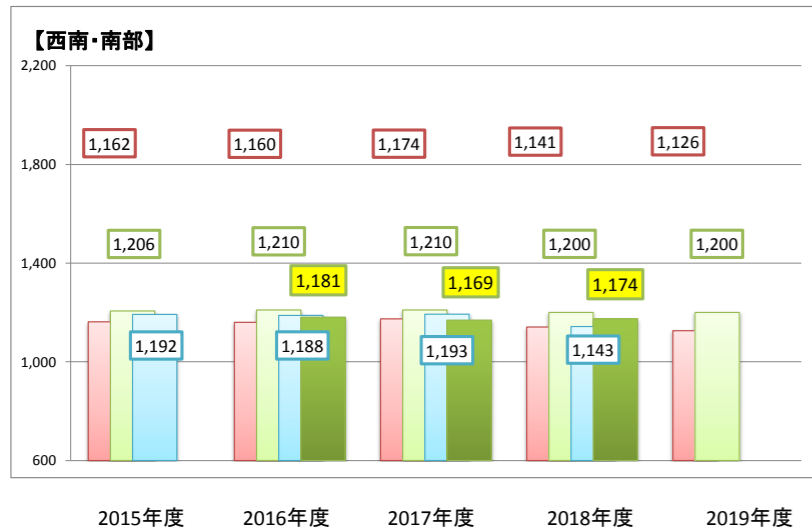
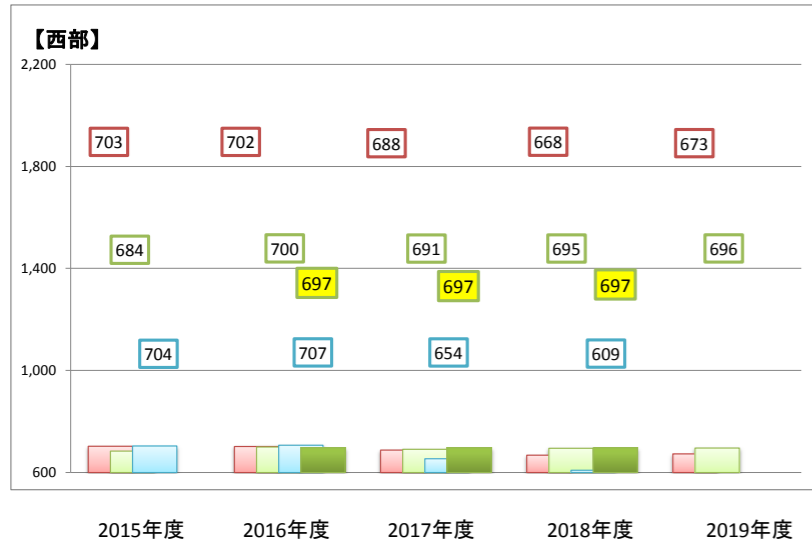
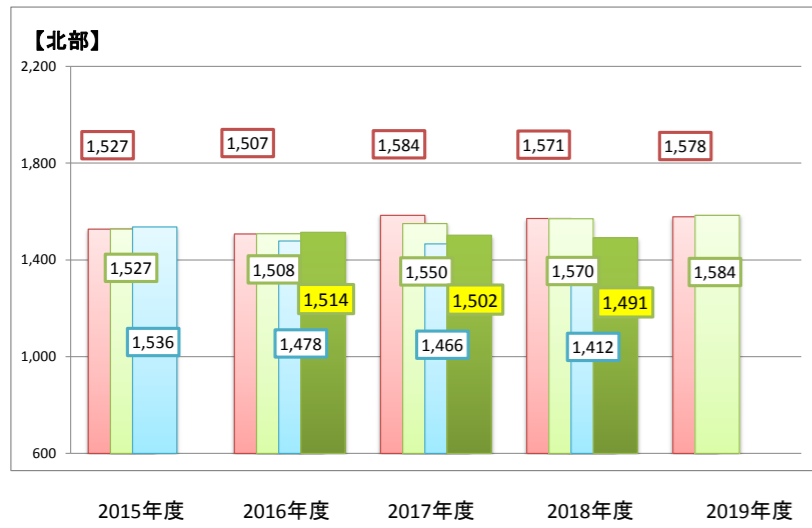


実績値及び量の見込み等の推計
【1号 全市】



●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	1,572	2,287	715
確認を受けない幼稚園	2,922	3,820	898
実績値 合計	4,494	6,107	1,613



〇量の見込み

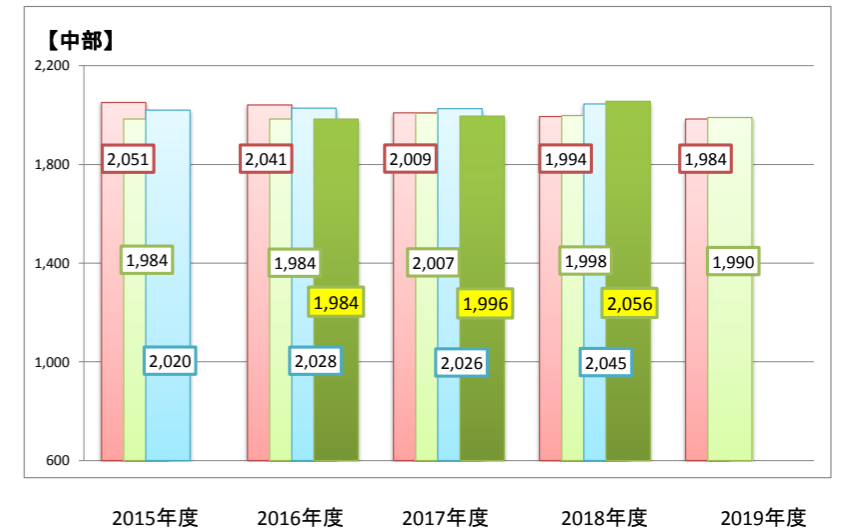
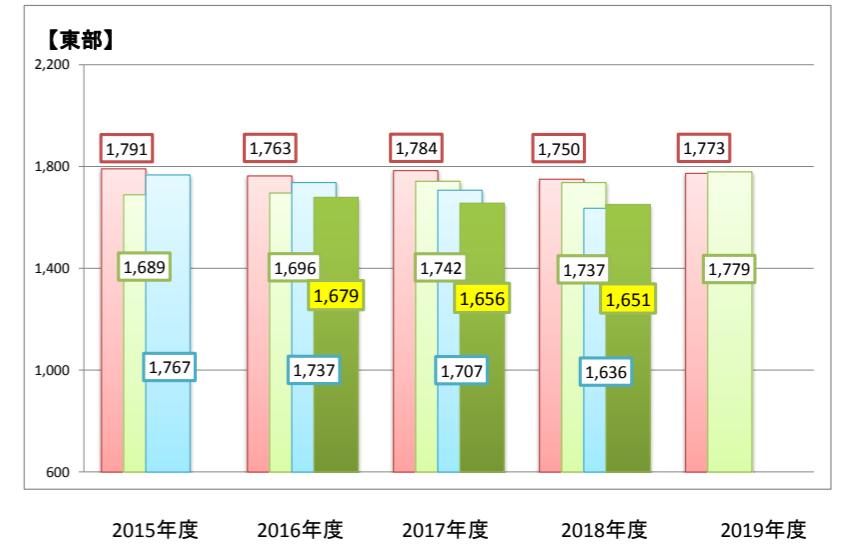
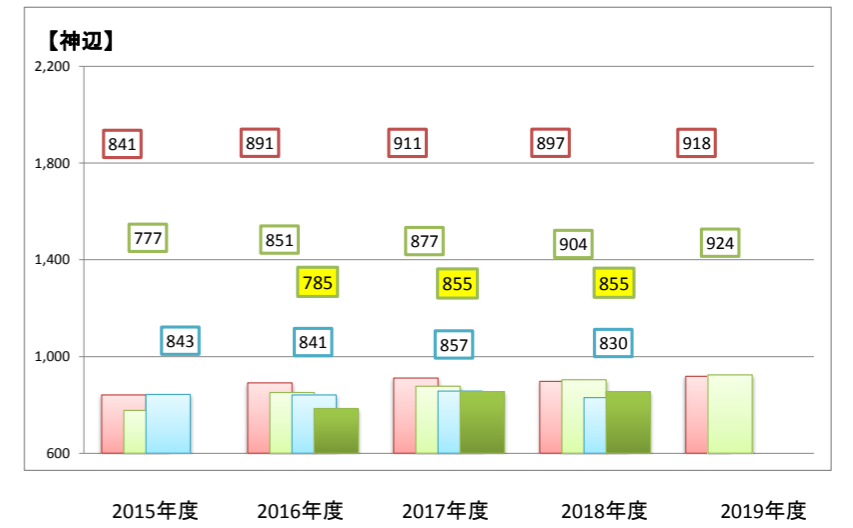
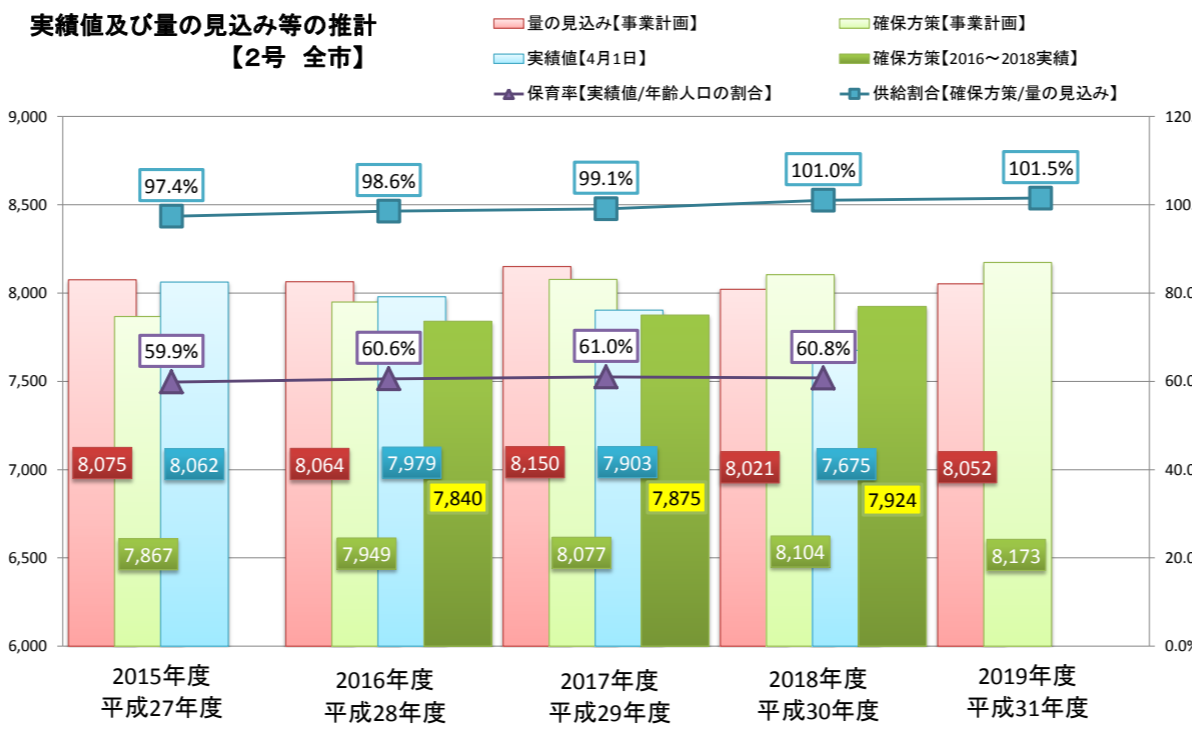
区分	2017年度事業計画(A)	2017年度実績値(B)	計画値との差(B)-(A)	2018年度事業計画(C)
3～5歳人口	13,185	12,953	△ 232	12,948
東部	1,784	1,707	△ 77	1,750
中部	2,009	2,026	17	1,994
北部	1,584	1,466	△ 118	1,571
神辺	911	857	△ 54	897
西南・南部	1,174	1,193	19	1,141
西部	688	654	△ 34	668
利用量合計	8,150	7,903	△ 247	8,021

〇確保方策

区分	2017年度事業計画(A)	2017年度実績値(B)	計画値との差(B)-(A)	2018年度事業計画(C)
特定教育・保育施設	8,077	7,875	△ 202	8,104
東部	1,742	1,656	△ 86	1,737
中部	2,007	1,996	△ 11	1,998
北部	1,550	1,502	△ 48	1,570
神辺	877	855	△ 22	904
西南・南部	1,210	1,169	△ 41	1,200
西部	691	697	6	695
合計	8,077	7,875	△ 202	8,104

●実績値比較

区分	利用量(a)	確保方策(b)	差(b)-(a)
実績値	7,903	7,875	△ 28



3号認定【0歳】（認定こども園・保育所・地域型保育事業）

（単位：人）

※ 当該年度の3月1日の0歳児入所児童数に100/120を乗じた数値

○量の見込み ※

区分	2017年度 事業計画 (A)	2017年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2018年度 事業計画 (C)
0歳人口	4,225	3,820【4月1日】 5,771【年平均】	△ 405 -	4,179
利用量	1,032	1,069	37	1,029
東部	264	258	△ 6	265
中部	277	333	56	274
北部	162	142	△ 20	161
神辺	98	104	6	98
西南・南部	158	149	△ 9	158
西部	73	83	10	73
利用量合計	1,032	1,069	37	1,029

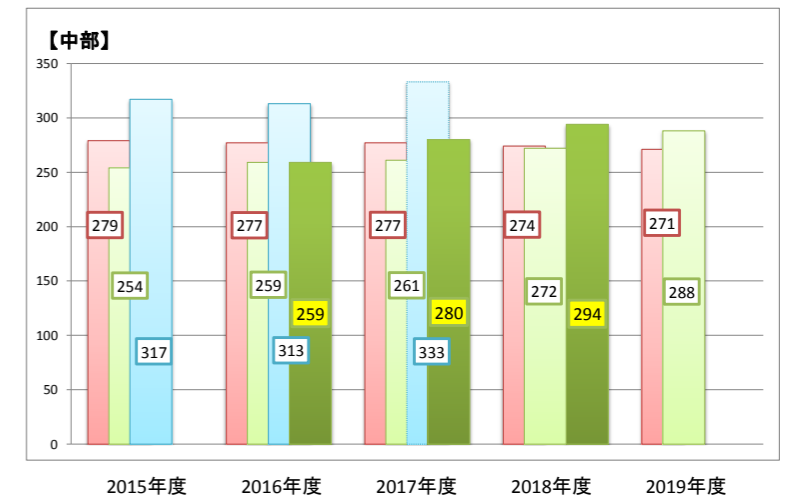
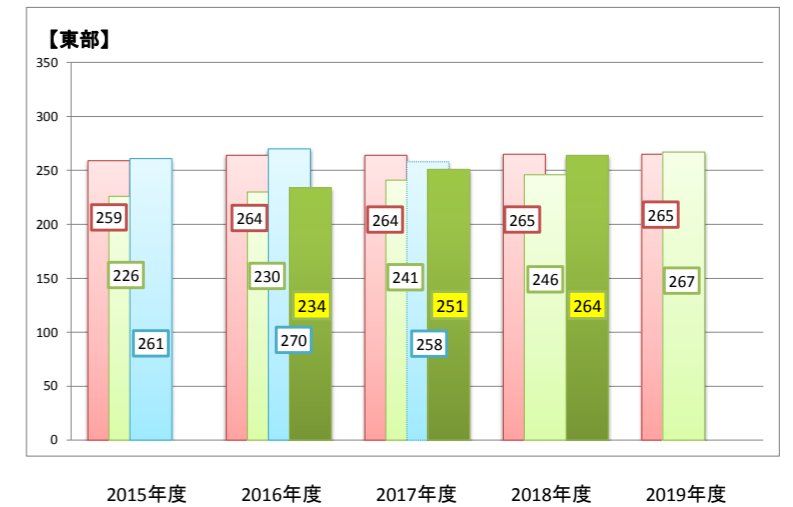
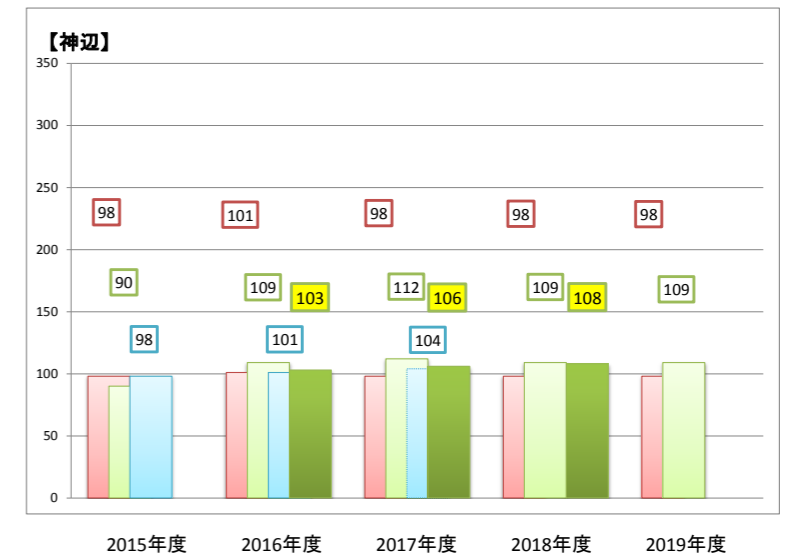
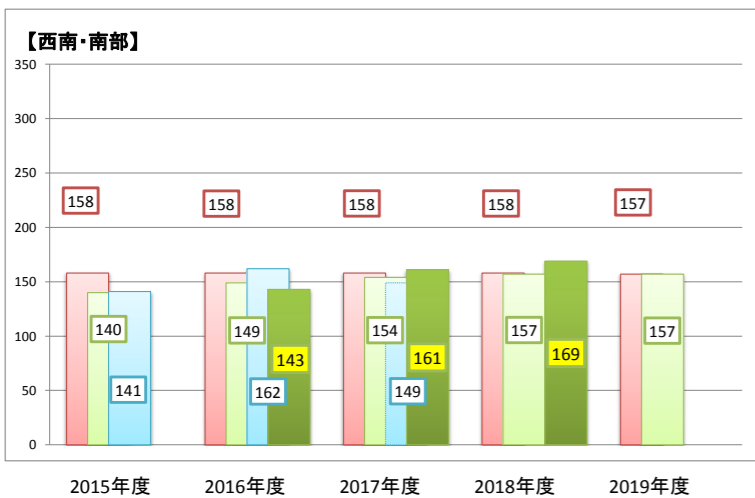
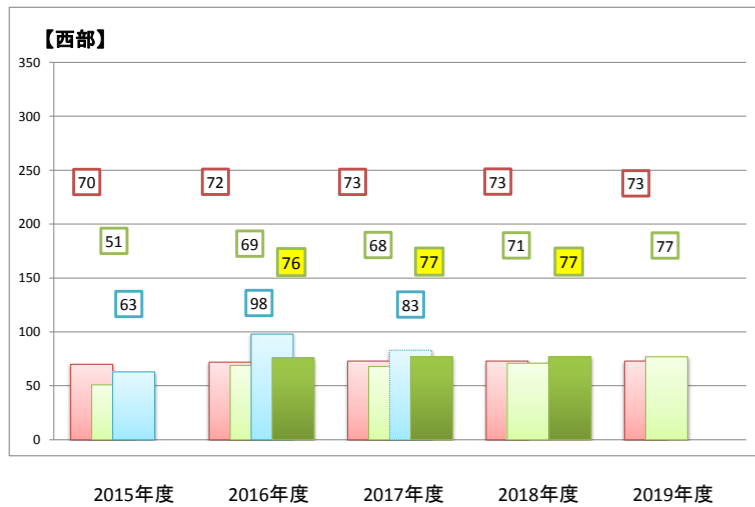
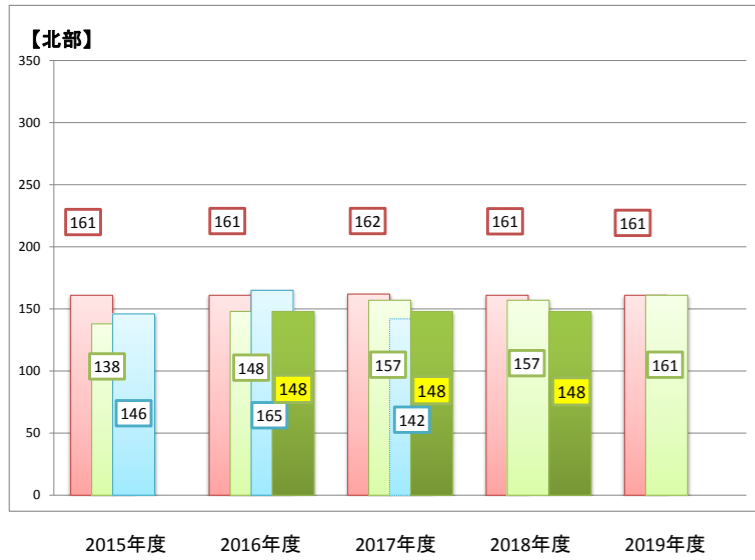
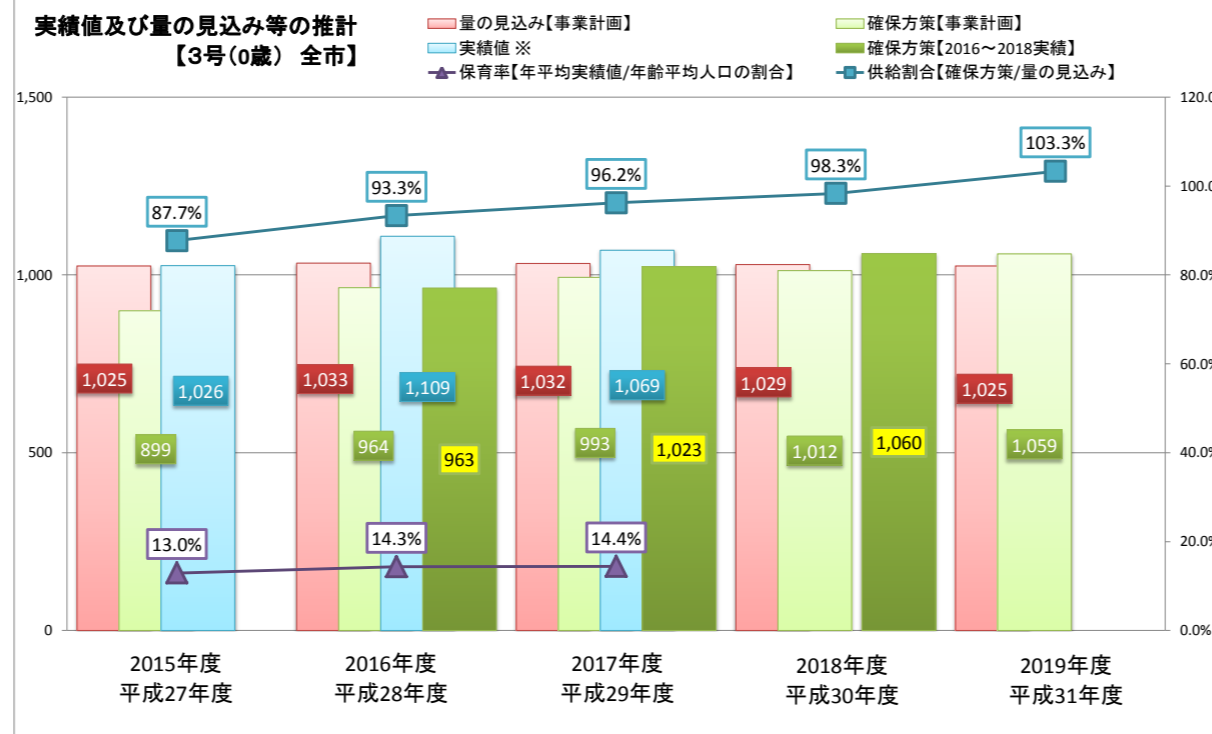
○確保方策

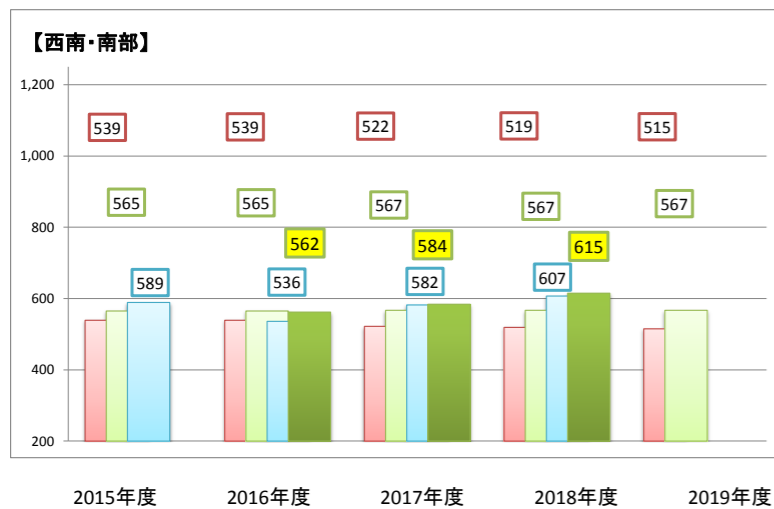
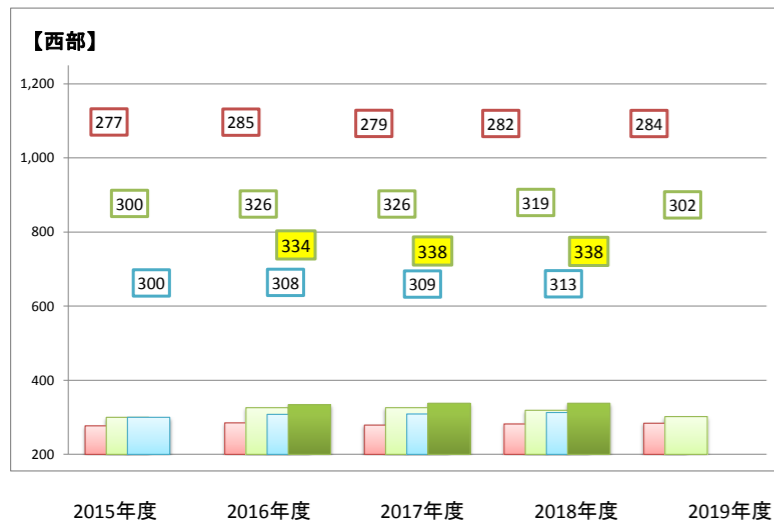
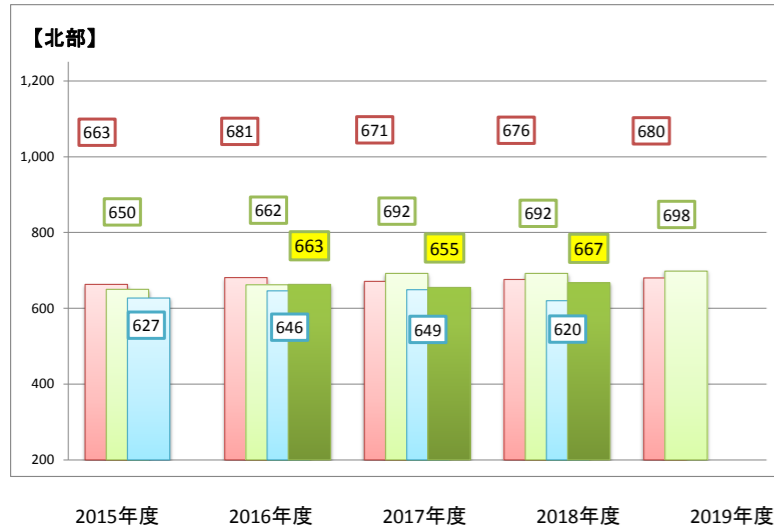
区分	2017年度 事業計画 (A)	2017年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2018年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	990	979	△ 11	1,009
東部	240	237	△ 3	245
中部	259	258	△ 1	270
北部	157	148	△ 9	157
神辺	112	103	△ 9	109
西南・南部	154	161	7	157
西部	68	72	4	71
特定地域型保育事業	3	44	41	3
東部	1	14	13	1
中部	2	22	20	2
北部	0	0	0	0
神辺	0	3	3	0
西南・南部	0	0	0	0
西部	0	5	5	0
合計	993	1,023	30	1,012

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	1,069	1,023	△ 46

実績値及び量の見込み等の推計
【3号(0歳) 全市】





○量の見込み

区分	2017年度 事業計画(A)	2017年度 実績値(B)	計画値との差 (B)-(A)	2018年度 事業計画(C)
1・2歳人口	8,647	8,321	△326	8,603
東部	885	932	47	888
中部	1,104	1,176	72	1,108
北部	671	649	△22	676
神辺	436	453	17	441
西南・南部	522	582	60	519
西部	279	309	30	282
利用量合計	3,897	4,101	204	3,914

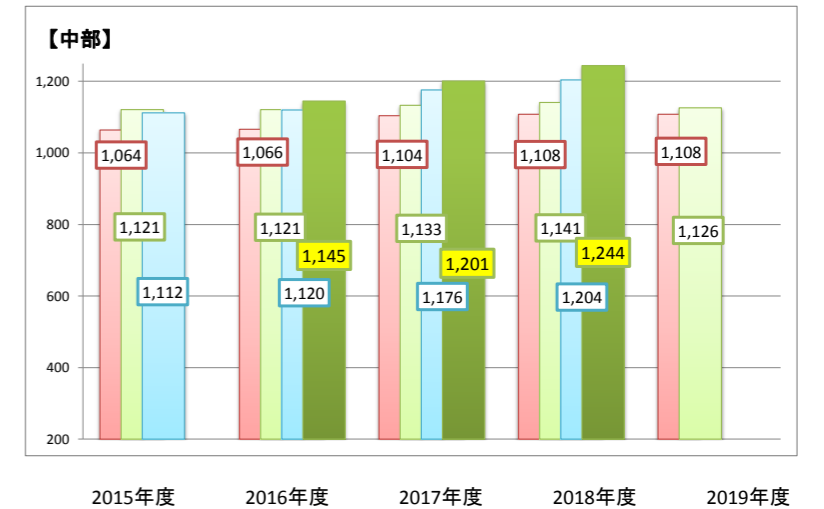
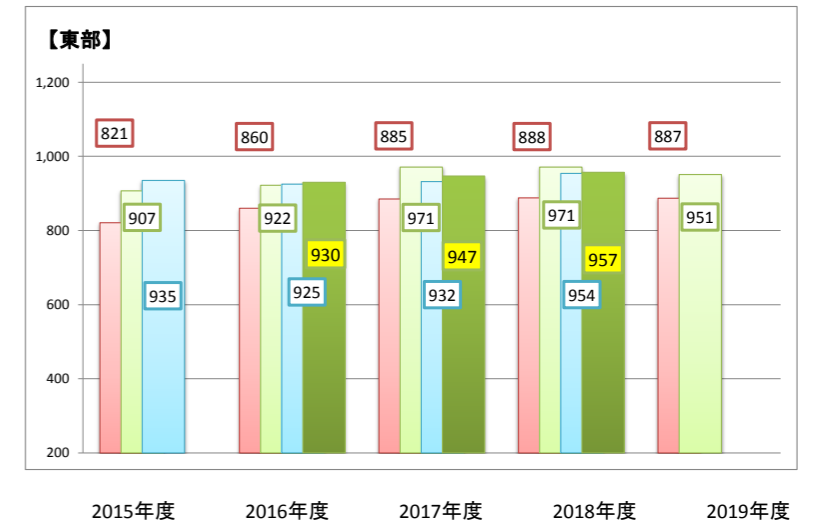
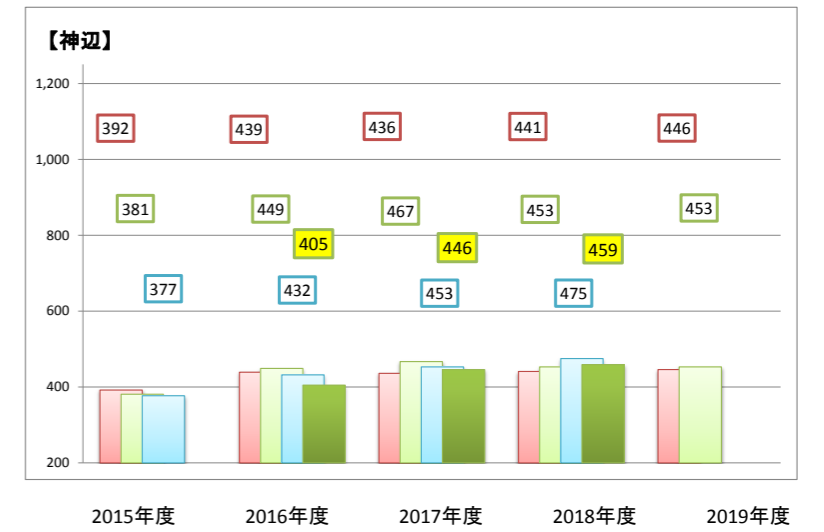
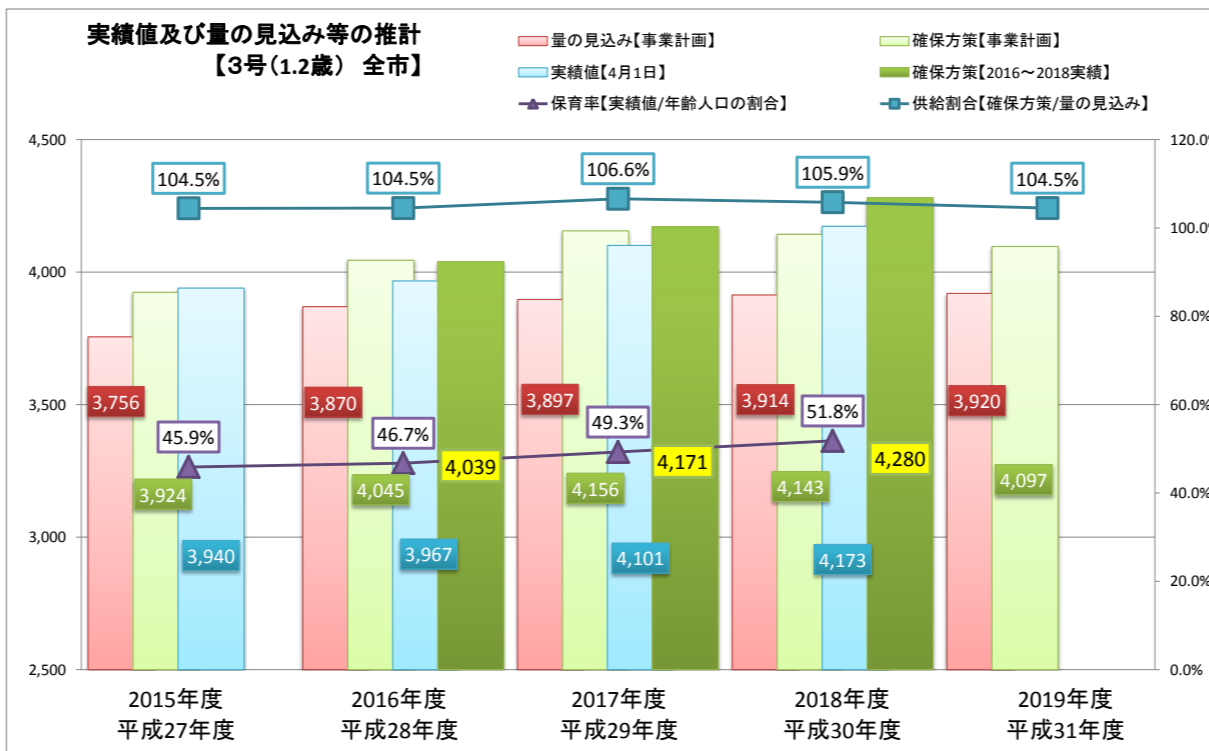
○確保方策

区分	2017年度 事業計画(A)	2017年度 実績値(B)	計画値との差 (B)-(A)	2018年度 事業計画(C)
特定教育・保育施設	4,126	4,020	△106	4,113
東部	947	874	△73	947
中部	1,127	1,147	20	1,135
北部	692	655	△37	692
神辺	467	434	△33	453
西南・南部	567	584	17	567
西部	326	326	0	319
特定地域型保育事業	30	151	121	30
東部	24	73	49	24
中部	6	54	48	6
北部	0	0	0	0
神辺	0	12	12	0
西南・南部	0	0	0	0
西部	0	12	12	0
合計	4,156	4,171	15	4,143

●実績値比較

区分	利用量(a)	確保方策(b)	差(b)-(a)
実績値	4,101	4,171	70

実績値及び量の見込み等の推計
【3号(1.2歳) 全市】



地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2017年度事業計画		2017年度実績		2018年度事業計画		次世代育成支援対策推進行動計画【施策の体系】	
		実績内容		実績値		実績値			
①	利用者支援事業 【子育て世代包括支援センター事業】	量の見込み		●妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行うために総合的な相談窓口である子育て世代包括支援センター（福山ネウボラ相談窓口）を12か所設置し、相談や情報提供を行う。関係機関とネットワークを構築し、連絡調整を行う。 ●福山ネウボラ相談窓口「愛称：あのね」実施箇所 12か所 ・ふくやま子育て応援センター ・保育所6か所 ・保健事業実施課5か所	実績値		量の見込み	1- (1) -⑦	
		実施か所数（か所）	18		実施か所数（か所）	12	実施か所数（か所）		18
		確保方策					確保方策		
		実施か所数（か所）	10				実施か所数（か所）	14	
②	地域子育て支援拠点事業	量の見込み		●「キッズコム」や地域の拠点保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談、援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施した。また、家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。 ●地域子育て支援拠点実施箇所（31か所） ・一般型 6～7日型 公立（キッズコム） 1か所 私立（いくたす） 1か所 5日型 公立 6か所 私立 4か所 3～4日型 私立 19か所	実績値		量の見込み	1- (1) -②	
		利用量（人日/年）	249,480		実施か所数（か所）	31	利用量（人日/年）		247,812
		確保方策					確保方策		
		実施か所数（か所）	31				実施か所数（か所）	32	
		【参考】提供可能量	232,500				【参考】提供可能量	240,000	
③	妊婦健康診査	量の見込み		●妊婦一般健康診査及び検査受診票を2007年度は1回の妊娠につき2枚交付し、2008年度は5枚交付した。2009年度からは、受診票を補助券方式に変更し実施しており、内訳は、1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検査受診券1枚を交付した。2011年度からは、上記に加えて検査券にHTLV-1検査を追加、クラミジア検査受診券1枚を交付した。	実績値		量の見込み	2- (1) -③	
		対象人数（人）	4,590		延受診件数（件）	51,648	対象人数（人）		4,540
		健診回数（回）	11.6				健診回数（回）		11.6
		延受診件数（件）	53,244				延受診件数（件）	52,664	
		確保方策					確保方策		
		延受診件数（件）	53,244				延受診件数（件）	52,664	
④	こんにちは赤ちゃん訪問事業 （乳児家庭全戸訪問事業）	量の見込み		●2008年度から実施しており、2017年度は、訪問対象3,946件に対し、訪問実績は3,667件（92.9%）となった。 〔内訳：キラキラサポーター（子育て支援ボランティア1,053件、育児家庭訪問員850件、保健師1,764件）〕 ●訪問時には「子育て安心ファイル」により、乳児健康相談などの日程や予防接種の受け方、相談窓口の紹介を行うとともに、赤ちゃんの絵本の紹介や「あかちゃんといっしょのおはなし会」などの情報提供をした。	実績値		量の見込み	2- (1) -⑥	
		訪問件数（件）	4,225		訪問件数（件）	3,667	訪問件数（件）		4,179
		確保方策					確保方策		
		訪問件数（件）	4,225				訪問件数（件）	4,179	
⑤	育児支援家庭訪問事業 （養育支援訪問事業）	量の見込み		●2005年度から、育児家庭訪問員（保健師、助産師、保育士などの有資格者）が訪問し、育児支援するとともに、要支援家庭については学区担当保健師と連携した。 ●2009年度からは、こんにちは赤ちゃん訪問事業などで、育児支援が特に必要と判断した家庭を訪問し、育児などに関する指導・助言などを行うことにより、家庭における適切な養育ができるように支援した。	実績値		量の見込み	2- (2) -③	
		訪問件数（件）	90		訪問件数（件）	89	訪問件数（件）		89
		確保方策					確保方策		
		訪問件数（件）	90				訪問件数（件）	89	

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2017年度 事業計画	2017年度実績		2018年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑥	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	量の見込み	●実施か所 2か所 ・福山乳児院 (2歳未満) ・こぶしヶ丘学園 (2歳以上) ●利用状況 ・福山乳児院 0人 0日 ・こぶしヶ丘学園 6人 31日	実績値	量の見込み	1- (1) -④
		利用量 (人日/年) 79		実施か所数 (か所) 1 利用量 (人日/年) 31	利用量 (人日/年) 77	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人日/年) 79			利用量 (人日/年) 77	
⑦	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	量の見込み	●援助の希望に可能な限り応じ、相互援助活動がスムーズにいくように努めた。 ●活動 ・延べ件数 1,641件 (2018年3月末) ・前年度 1,735件 ・主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●2018年3月末会員数 () 内は、2017年3月末 依頼会員 616人 (593人) 協力会員 161人 (159人) 両方会員 73人 (75人) ●援助依頼に対応する協力・両方会員の新規会員が少ないため、今後も周知活動を行い協力・両方会員の増員に努める。	実績値	量の見込み	1- (1) -③
		【低学年】利用量 (延人/年) 2,850 【高学年】利用量 (延人/年) 257		【低学年】利用量 (延人/年) 800 【高学年】利用量 (延人/年) 202	【低学年】利用量 (延人/年) 2,900 【高学年】利用量 (延人/年) 242	
		確保方策			確保方策	
		【低学年】利用量 (延人/年) 2,850 【高学年】利用量 (延人/年) 257			【低学年】利用量 (延人/年) 2,900 【高学年】利用量 (延人/年) 242	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり) 【1号認定による利用】 【幼児期の学校教育の利用希望が強い児童による利用】	量の見込み	●家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行う事業です。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象に預かりを行い、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児の預かりを行います。 ●実施か所 36か所 (自主事業含む) ・公立幼稚園 13か所 ・私立幼稚園 3か所 ・私立認定こども園 20か所	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (延人/年) 39,547		利用量 (延人/年) 52,390	利用量 (延人/年) 38,876	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (延人/年) 39,547			利用量 (延人/年) 38,876	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外)	量の見込み	●保育所による一時預かり ○保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 ○実施か所 117か所 (自主事業含む) ・保育所 (公立) 53か所 ・保育所 (私立) 37か所 ・認定こども園 (私立) 19か所 ・地域型保育事業所 7か所 ・いくたす 1か所 ●ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) ○延べ件数 1,641件 (2018年3月末) 前年度 1,735件 就学前子どもの利用 639件 ○主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●トワイライトステイ事業 ○実施か所 1か所 こぶしヶ丘学園 (2歳以上) 0人 0日	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (延人/年) 46,155		利用量 (延人/年) 33,025 ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 639 トワイライトステイ事業 (延人/年) 0	利用量 (延人/年) 46,110	
		確保方策			確保方策	
		保育所による一時預かり (延人/年) 45,142 ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 1,011 トワイライトステイ事業 (延人/年) 2			保育所による一時預かり (延人/年) 45,097 ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 1,011 トワイライトステイ事業 (延人/年) 2	
⑨	延長保育事業 (時間外保育事業)	量の見込み	●実施か所 127か所 (自主事業含む) ・保育所 (公立) 53か所 ・保育所 (私立) 42か所 ・認定こども園 (私立) 22か所 ・地域型保育事業所 10か所	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (人/年) 6,253		利用量 (人/年) 7,543	利用量 (人/年) 6,187	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人/年) 6,253			利用量 (人/年) 6,187	

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2017年度 事業計画	2017年度実績		2018年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】		
			実績内容	実績値				
⑩	病児保育事業	量の見込み	●医療機関 4か所 ・橋高クリニック ・いぶき小児科 ・福山市民病院 ・おひさまこどもクリニック	実績値	量の見込み	1-(2)-①		
		利用量（延人/年）			4,474		利用量（延人/年）	4,421
		確保方策					確保方策	
		利用量（延人/年）			7,000		利用量（延人/年）	7,000
⑪	放課後児童クラブ事業 (放課後児童健全育成事業)	量の見込み	●対象は市内の小学校に在学する1～3年生（特別支援学級在籍などの児童は6年生まで）であって、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童（※一部クラブにおいては、6年生までの受入れを実施） ●開設時間 ・学期中 月～金曜日 下校時～18:00 土曜日 8:30～17:00 ・長期休業中 月～金曜日 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00	実績値	量の見込み	1-(1)-⑤		
		【低学年】利用量（人）			4,286		【低学年】利用量（人）	4,347
		【高学年】利用量（人）			762		【高学年】利用量（人）	791
		確保方策					確保方策	
		【低学年】利用量（人）			4,286		【低学年】利用量（人）	4,347
		【高学年】利用量（人）			762		【高学年】利用量（人）	791
⑬	多様な事業者の参入促進・能力活用事業 【認定こども園特別支援教育・保育経費】	量の見込み	●社会福祉法人が運営する幼保連携型認定こども園において、障害のある1号認定子ども（※）を受け入れる場合に、職員の加配に必要な費用を助成することで、子ども一人一人の状態に応じた適切な教育・保育の提供に資することができた。 ※特別児童扶養手当の支給対象及びその他健康面、発達面において特別な支援が必要な子ども	実績値	量の見込み			
		利用量（人/月）			96		利用量（人/月）	120
		確保方策					確保方策	
		年間受入人数（人/月）			96		年間受入人数（人/月）	120